

し尿を肥料に変え、 持続可能な社会へ

築上町 資源循環型農業推進事業



福岡県築上町

人口：16,618人（R6.3月末）

面積：119.61平方km

海と山に囲まれた
自然豊かな地



平成29年竣工
第2液肥製造施設



資源循環型 農業とは？

し尿をリサイクルし、
液肥として
農業に活用する
システム



SDGs17項目のうち、
6つの目標が該当する
エコな取り組み

築上町では、 平成6年から 資源循環型農業への 取り組みを開始

30年前からSDGsに取り組み
エコの先駆けを行い、
資源循環を通じた
持続可能な農業を推進しています



液肥を
作る



液肥を
使う



築上町
資源循環型農業
推進事業

3つの柱

1

資源
循環

全町のし尿を
100%循環利用

2

CO₂
削減

CO₂排出が
約2分の1に

3

肥料
自給

化学肥料を削減
持続可能な農業へ

1 資源循環

全町のし尿を 100%循環利用

※下水処理分除く



広域処理に比べ
1tあたり約3,400円
安く処理できる



町が施肥することで
農家の
生産性向上



食べる→
し尿になる
液肥を
作る
農作物を
育てる
液肥を
使う

1 資源循環

全町のし尿を 100%循環利用

※下水処理分除く

町、生産者、 学校が連携

循環の価値を
守り続ける努力



田植え体験



施設見学



出前授業



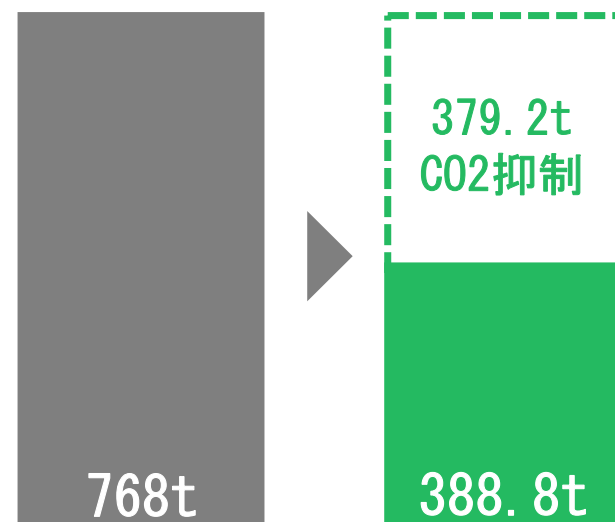
収穫体験

2 CO₂
削減

CO₂排出量が
約 2 分の 1 に

年間 379.2t の
CO₂排出を抑制

31.6kg (1tあたりのCO₂削減量) × 12,000t (1年あたりのし尿等処理量)
※数値は「高温好気性発酵による液肥製造施設のLCA分析―築上町の事例」
研究報告書 (九州大学矢部教授作成) より引用



従来処理

し尿等：
高負荷脱窒素処理

液肥活用

好気性処理

処理方法によるCO₂排出量の比較

2 CO2
削減

CO2排出量が
約2分の1に

さらに

化学肥料から液肥

への代替により、化学肥料

製造・物流過程の

CO2排出を抑制



製造



物流

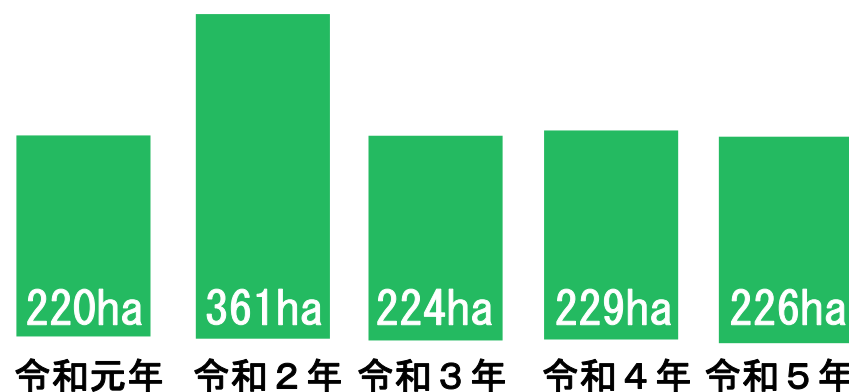
3 肥料 自給

肥料自給を進め、
持続可能な
農業へ

毎年 **200ha以上** の農地で
肥料を自給

天候に左右されるが、350ha以上での安定散布を目指す

液肥散布実施面積



3 肥料 自給

肥料自給を進め、
持続可能な
農業へ

濃縮液肥 を開発し、
施設園芸作物 にも
利用可能 に



濃縮バイオ液肥を利用した、
養液土耕栽培のいちご

寄附企業の
メリット

企業のCSRと地域貢献

企業認知度アップ& 企業イメージの向上

- ・ 町HP等での寄附企業
のご紹介
- ・ CSR活動強化と
SDGs達成への貢献



町長からの 感謝状贈呈



山中0

【資料要修正】

小出しとなり恐縮です。

寄附額による感謝状の贈呈の有無があるのは本来あまり望ましくないため、記載を修正いただけますよう（当該部分を記載しない等）お願いします。

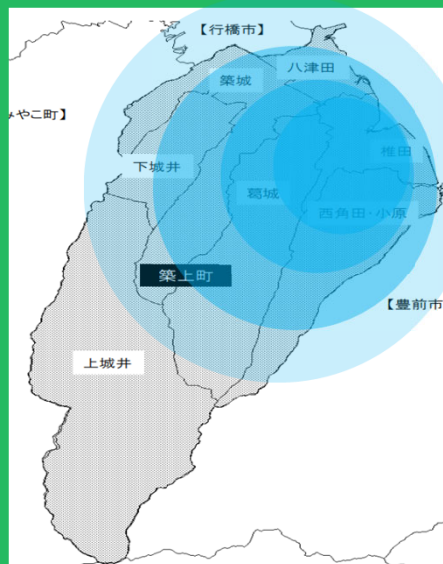
山中 凌(YAMANAKA Ryo),

今後の展望と
お願い

さらなる拡大と企業との連携

町内遠方への 液肥利用拡大

液肥散布を希望
する、液肥施設
から遠い地区の
農家へ届ける



産学官連携による技術開発 企業との協力で 地域の未来を創る



築上町とともに、
持続可能な未来を
築き上げましょう！



連絡先

福岡県築上町 企画財政課 辻上

TEL

0930-56-0300

MAIL

kikakukeikaku@town.chikujo.lg.jp